



令和3年5月18日

各位

会社名 第一交通産業株式会社
代表者 代表取締役社長 田中亮一郎
(コード番号 9035 福証)
問い合わせ先 専務取締役 垂水繁幸
(TEL 093-511-8840)

通期業績予想値と実績値との差異及び繰延税金資産の取り崩しに関するお知らせ

令和2年11月6日に公表いたしました令和3年3月期の通期業績予想値と本日開示の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 令和3年3月期 通期連結業績予想値と実績値との差異（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 87,100	百万円 △1,100	百万円 △500	百万円 △1,000	円 銭 △29.37
実績値 (B)	78,748	△2,221	△1,215	△2,191	△64.35
増減額 (B-A)	△8,351	△1,121	△715	△1,191	—
増減率 (%)	△9.6	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (令和2年3月期)	105,595	5,340	5,522	2,957	86.85

2. 差異の理由

前回発表時点において、人の移動について下期以降は緩やかに需要が回復するものと想定しており、第3四半期までは回復基調が継続したものの、第4四半期において新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言の再発出等の影響により、タクシー事業・バス事業において移動需要が減少したこと等及び新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により収益性の低下がみられるため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失を特別損失として計上したことにより、売上高及び各利益項目は前回発表予想を下回りました。

3. 繰延税金資産の取り崩しについて

現時点で新型コロナウイルス感染症の影響を加味した将来課税所得を見積り、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、236百万円を取り崩すこととしたため、法人税等調整額が同額増加しました。

以上